

CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式

DR08SAR

DR08SBR

ビルトインIHコンロ

- このたびは、IHコンロをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。
- 仕様および外観は予告なく変更する場合があります。
- 設置の場合は、設置説明書をよくお読みになり正しく設置してください。
(設置説明書は、当社HPよりご覧いただけます。)

もくじ

1	安全のため必ず守ってください・・・	1
2	設置および使用前の準備・・・	5
3	各部の名称・・・	7
4	使用方法・・・	8
5	日常の点検とお手入れの方法・・・	10
6	故障の見分け方と処置方法・・・	11
7	仕様・・・	13
8	保証とアフターサービスについて・・・	13

株式会社 中部コーポレーション

1 安全のため必ず守ってください

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 <u>物的損害</u> の発生が、想定される内容を示します。 *

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を意味します。

図記号の例

 注意	△は、注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で表示してあります。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で表示してあります。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で表示してあります。



警告

- お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。
損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。



損傷確認

- アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
（電気工事業者によるD種設置工事が必要です。）



アース工事

- 絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

絶縁試験（メガーテスト）を行うと、製品が焼損または破損します。



禁止

●本製品の1台につき1個の漏電遮断器（地絡過負荷・短絡保護兼用形・感度電流 30mA）を設置すること	
漏電遮断器設置	
●電源は専用コンセントを使用すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードを使用したり、タコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）	
専用コンセント	
●屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。	
屋外禁止	
●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください 感電、ケガの原因になります。	
禁 止	
●電源コードを傷つけたり、汚さないこと 加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。	
禁 止	
●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。	
点検清掃	
●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと 感電の原因になります。	
濡手禁止	
●異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること 異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。	
プラグを抜く	
●修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理しないこと 異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。	
分解禁止	
●電源は単相200Vを使用すること 異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。	
専用電源	

●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと	
使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、手を触れないでください。火傷をすることがあります。	接触禁止
●トッププレートに衝撃を加えないこと	
トッププレートはガラスですので衝撃を加えると割れます。 トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡してください。 有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。 異常作動や感電の原因となります。	禁止
●鍋の底に物を敷いて運転しないこと	
鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。 また、それによって製品が壊れる可能性があります。	禁止
●空焚きをしないこと	
空焚きをすると鍋が急激に温度上昇するため、火傷、火災の原因になります。 また、それによって製品内部も高温となるため故障の原因になる場合があります。	禁止
●運転中は製品の使用場所から離れないこと	
加熱物の温度が急上昇し、発火する恐れがあり、火傷、火災の原因となります。	禁止
●製品を水や油等の液体につけたり、かけないでください	
感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。 また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取ってください。 高温（200℃以上）の油などの飛散によってトッププレートの接着が損傷し、 それによって製品が壊れることがありますので気を付けてください。	禁止
●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください	
心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。	注意
 注 意	
●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること	
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。	水平設置
●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと あるいは元電源を切ること	
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。	プラグを抜く
●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること	
	専門業者

●吸気口・排気口をふさがないこと 吸気口・排気口を物などでふさがないでください。保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れることがあります。	 禁 止
●吸気口・排気口やすきまなどに異物を入れないこと 感電などにより、ケガの原因になります。 製品が壊れる原因になります。	 禁 止
●鍋は加熱面の中央に置くこと 指定の場所からずらして加熱すると、パワーが落ちる場合があります。	 注 意
●磁気製品を近づけないでください 磁気製品を近づけると壊れる場合があります。	 注 意
●加熱中に電磁調理器用鍋以外の金属をトッププレート上に置かないこと 電磁調理器用鍋以外の金属類（缶類、ナイフ、スプーン等）を トッププレート上に置くと異常加熱して火傷等の危険があります。 絶対上に置かないでください。	 禁 止
●調理用プレートが長時間高温になる焼き物調理や炒め物調理をしないこと グリルプレートなどの調理用プレートを使用した焼き物や炒め物調理で、 プレートの温度が長時間高温になる場合は、製品内部も高温となり 故障の原因になる場合があります。	 禁 止
●液体中に固形物や粘度の高い調理物、凍った食材などが含まれた状態で加熱を行う場合は焦げ付きに注意してください 固形物や粘度の高い調理物、凍った食材などは液体中であっても鍋底に 密着した状態が続くと焦げ付きや鍋の異常加熱の原因となりますので、 加熱中はよくかき混ぜるか、鍋底に密着させないための底上げ器具 （底上げ網やスプースポーターなど）を使用してください。	 注 意
●オイルミストが多く発生する環境での使用は避けること 製品内部が汚れることにより、予期せぬ動作や故障の原因になります。	 禁 止
●ビルトインIHコンロ（DR08SAR）の操作部に、鍋などが触れるとボタンが反応するため、注意してください 予期せぬ動作や、誤操作の原因になります。	 注 意
●液体加熱時は急激な沸騰に注意すること 水・だし汁・みそ汁・牛乳・カレーなどの液体を加熱した際、急激な沸騰（突沸）が起こり、液体が噴き出す、飛び散る、鍋が跳ねるといった現象が起こる可能性があるため、火傷、ケガ、トッププレート破損などの原因になります。 液体を加熱する際は、かき混ぜながらご使用ください。	 注 意

2 設置および使用前の準備

●周囲温度 35℃以下の環境で使用してください

周囲温度が 35℃以上の環境で使用されますと、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れることがあります。

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機は、正しく作動するために、水平な場所に設置してください。

●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

●電磁調理器用鍋を使用してください

使用できる鍋

鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0, 18-10）等、磁石の付く（磁性がある）鍋で、底の平らな鍋、または、電磁調理器用に設計された鍋。

（鍋の材質・鍋底の厚み・形状・大きさにより使用できない鍋があります。）

鍋底の直径が適用鍋寸法外や、底が平らでない鍋、テフロン加工してある鍋は、十分な加熱ができないことがあります。

また、電磁調理器用の鍋でも磁性が弱いものだとパワーがでない場合があります。

適用鍋寸法

- ・型式：DR08SAR 鍋底径 Φ90mm 以上 ～ Φ130mm 以下
- ・型式：DR08SBR 鍋底径 Φ90mm 以上 ～ Φ195mm 以下

注意

- ・鍋底が薄い鍋は、使用中にそる場合がありますので、厚手のものを使用してください。
- ・空焚きに近い状態で使用すると、保護装置が働き停止する場合があります。

使用できない鍋

ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石が付かない（磁性がない）鍋

アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋

注意

- ・使用できない鍋を 60 秒間トッププレートの上に乗せておくと、保護装置が働き自動で停止します。
- ・鍋底にカーボン又は、ステンレス板がはりつけられている鍋は、鍋底が高温となるため、保護装置が働き停止する場合があります。

- 設置は、火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従い設置してください。
- 確実に吸気と排気ができる場所に設置してください。
- 製品本体が高温・多湿の空気にさらされない場所に設置してください。
- 製品本体に水がかからない場所に設置してください。

注意

※トッププレートの周囲と可燃性の壁等の距離は、6.5 cm以上離れていること。

(不燃性の壁又は、防熱板を取付けた場合は、0 cm以上離れていること。)

※トッププレートの表面と可燃性の壁等の距離は、100 cm以上離れていること。

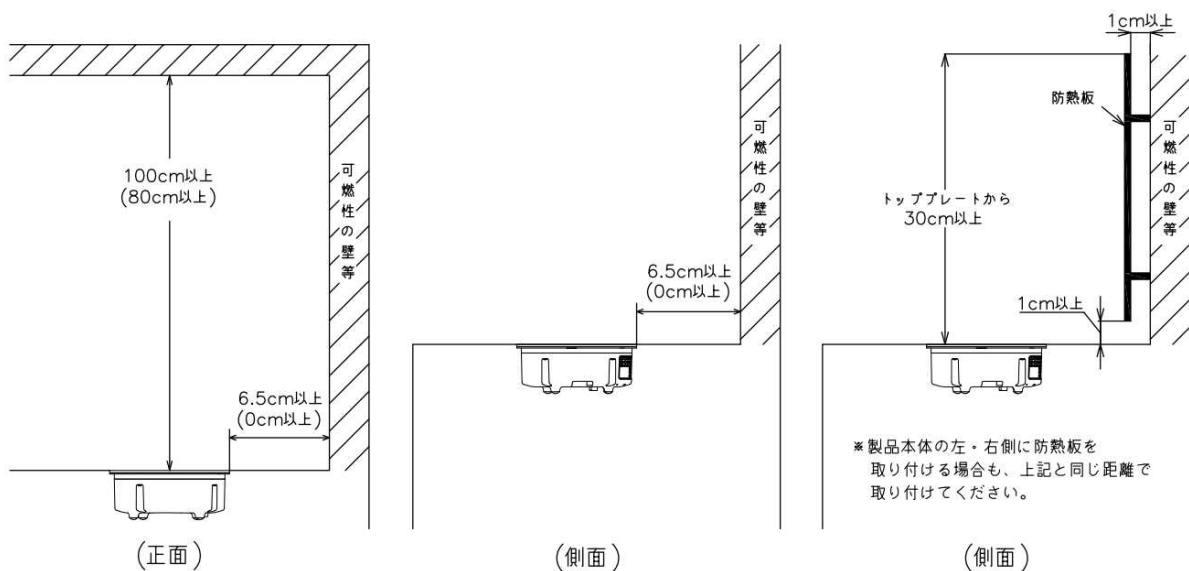
(不燃性の壁又は、防熱板を取付けた場合は、80 cm以上離れていること。)

※防熱板を取付ける場合、可燃性の壁等の表面と、防熱板の間に1 cm以上の通気させる隙間をあけること。

またこの時、可燃性の壁等の表面温度が100℃を超えないこと。(室温35℃の時)

※製品本体の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属(メタルラス・金属板など)などと接触する場合は、電氣的に接続しないよう設置すること。

又は、製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属(メタルラス・金属板など)などと接触しないように設置すること。(電気設備の技術基準の解説第145条を参照してください。)



周囲が可燃性の壁の場合

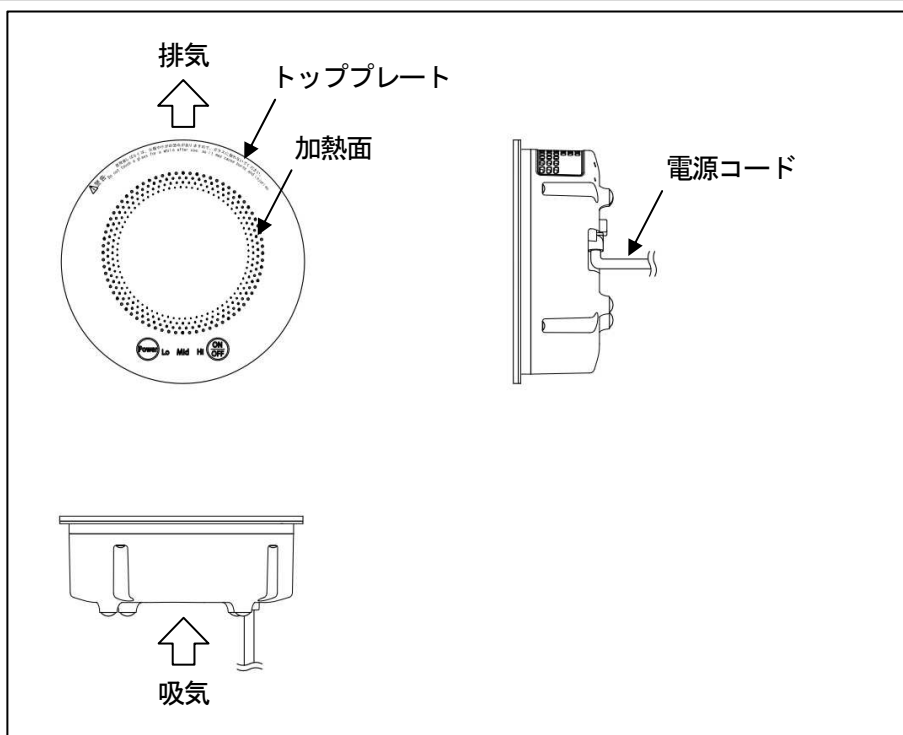
[() 内の距離は、周囲が不燃性の壁又は、右図の場合]

周囲が可燃性の壁であり

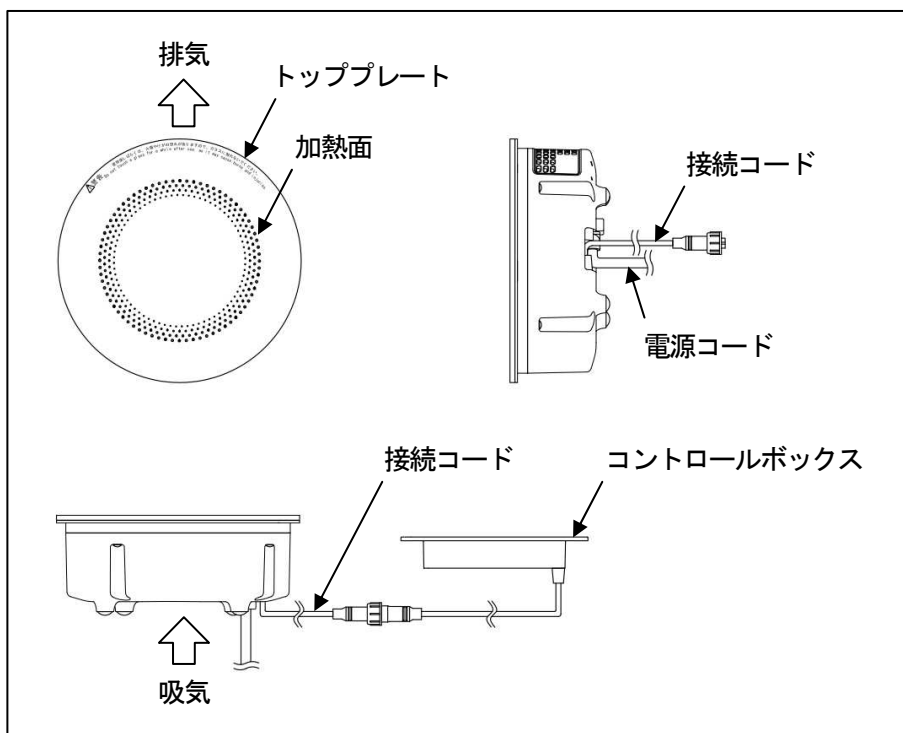
防熱板を取付ける場合

3

各部の名称



型式 : DR08SAR

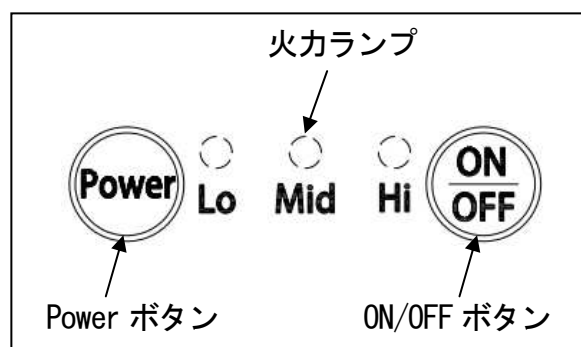
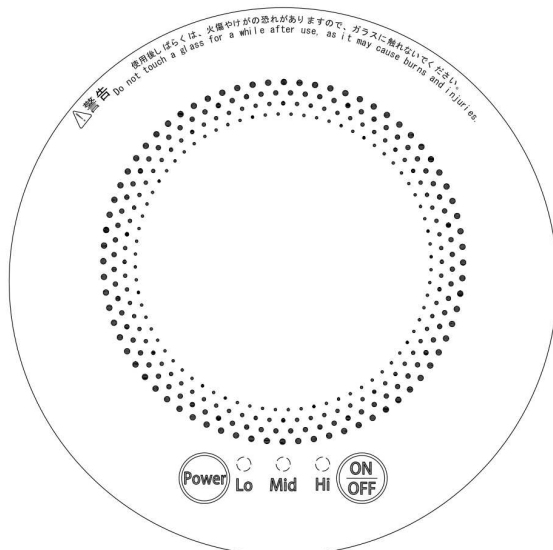


型式 : DR08SBR

4 使用方法

操作パネルの説明

型式：DR08SAR

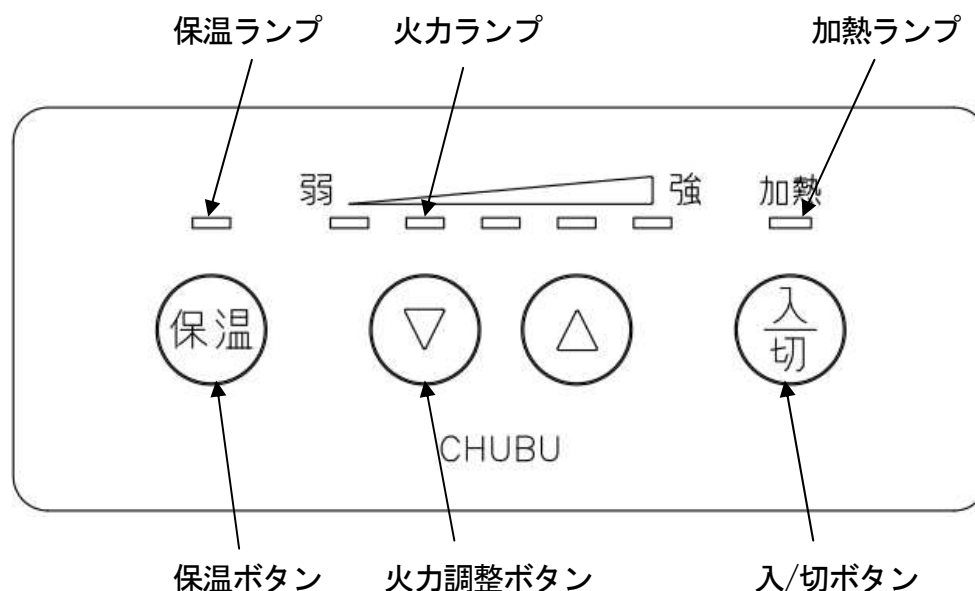


操作部拡大

通常運転（火力調節運転）

- (1) 漏電遮断器を「ON」にします。
- (2) 加熱面の中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。
- (3) ON/OFF ボタンを押すと火力ランプの交互点滅が始まります。
※ この状態は待機状態であり、加熱は開始されていません。
- (4) Power ボタンを押すと火力最大で加熱が始まります。
- (5) Power ボタンでお好みの火力に調節してください。
- (6) ON/OFF ボタンを押すと加熱が停止されます。

型式：DR08SBR



通常運転（火力調節運転）

- (1) 漏電遮断器を「ON」にします。
- (2) 加熱面の中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。
- (3) 入/切ボタンを押すと火力最大で加熱が開始されます。
- (4) 火力調整ボタン「△」「▽」でお好みの火力に調節してください。
- (5) 入/切ボタンを押すと加熱が停止されます。

保温運転

- (1) 通常運転中に保温ボタンを押すと保温運転を開始します。
（保温運転中は、保温ランプが点灯して約 80℃に保温されます。）
- (2) 火力調整ボタン「△」「▽」を押すと通常運転（火力調整運転）に変わります。
- (3) 入/切ボタンを押すと加熱が停止されます。

5 日常の点検とお手入れの方法

- 使用されるたびにお手入れをしてください。
- お手入れする際は、必ず電源プラグを抜いてください。
- 内部に水、洗剤などを入れないようにしてください。
事故・故障の原因になります。

・トッププレートの手入れ

トッププレートが汚れた場合は、硬くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注 意

トッププレートは常に汚れの無い状態で使用してください。
トッププレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

・吸気口・排気口の手入れ

ゴミなどが詰まっている場合は、掃除機で取り除いてください。
汚れている場合は、硬くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注 意

吸気口・排気口が詰まっている状態で使用を続けると、過熱防止装置が働き加熱を停止する場合があります。また、製品が壊れることがあります。

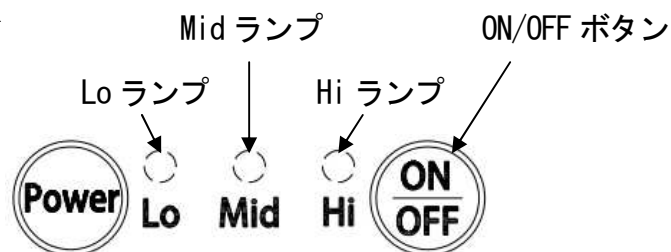
・お願い

- お手入れの際、ベンジン・シンナー・ガソリン・漂白剤・酸性類・たわしなどは使用しないでください。
- 使用環境が悪い場合や、使用頻度が多い場合は、お手入れの回数を増やしてください。

6 故障の見分け方と処置方法

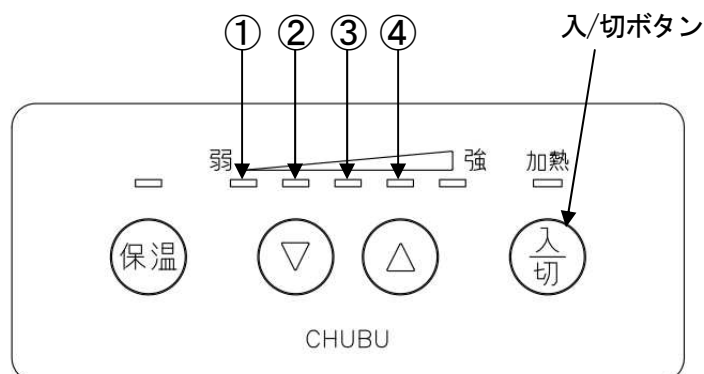
以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断器を遮断し、販売店に連絡してください。

型式 : DR08SAR



症状	原因	処置方法
ボタンを押しても反応がない	電源プラグが抜けています。	コンセントに差し込んでください。
	漏電遮断器がOFFになっています。	漏電遮断器をONにしてください。
	ヒューズが切れています。	漏電遮断器をOFFにして、販売店に連絡してください。
「ピッ・・・」音が鳴り続けながら 火力「Lo」「Mid」「Hi」ランプが全点滅して 機器が停止した	使えない鍋を使用しています。	使える鍋を使用してください。(P.5 参照)
	鍋を加熱面の中心に置いていません。	鍋を加熱面の中心に置いてください。
火力「Mid」ランプが点滅して機器が停止した	トッププレートの温度センサーに異常が発生しています。	漏電遮断器をOFFにして、販売店に連絡してください。
火力「Lo」「Hi」ランプが点滅して機器が停止した	電源電圧が高くなっています。	- 正しい電源を使用してください。 「ON/OFF」ボタンを押すとエラー解除します。
火力「Lo」ランプが点滅して機器が停止した	電源電圧が低くなっています。	
火力「Lo」「Mid」「Hi」ランプが全点滅し始め、 火力「Hi」ランプが点滅して機器が停止した	トッププレートが高温になっています。	- トッププレートから鍋を外し、暫く待ってからご使用ください。 「ON/OFF」ボタンを押すとエラー解除します。
火力「Mid」「Hi」ランプが点滅して機器が停止した	機器内部の電子部品が冷却不足となっています。	- 周囲が35℃以下の環境で使用してください。 - 吸気口、排気口の清掃をしてください。(P.10 参照) 「ON/OFF」ボタンを押すとエラー解除します。
火力が弱い	トッププレートが高温になっています。	トッププレートから鍋を外し、暫く待ってからご使用ください。
	加熱しにくい鍋を使用しています。	使える鍋を使用してください。(P.5 参照)

型式 : DR08SBR



症状	原因	処置方法
ボタンを押しても反応がない	電源プラグが抜けています。	コンセントに差し込んでください。
	漏電遮断器がOFFになっています。	漏電遮断器をONにしてください。
	ヒューズが切れています。	漏電遮断器をOFFにして、販売店に連絡してください。
「ピッ・・」音が鳴り続けながら機器が停止した	使えない鍋を使用しています。	使える鍋を使用してください。(P.5 参照)
	鍋を加熱面の中心に置いていません。	鍋を加熱面の中心に置いてください。
火力「①」ランプが点滅して機器が停止した	トッププレートの温度センサーに異常が発生しています。	漏電遮断器をOFFにして、販売店に連絡してください。
火力「②」ランプが点滅して機器が停止した	電源電圧が高くなっています。 電源電圧が低くなっています。	・正しい電源を使用してください。 ・「入/切」ボタンを押すとエラー解除します。
火力「③」ランプが点滅して機器が停止した	トッププレートが高温になっています。	・トッププレートから鍋を外し、暫く待ってからご使用ください。 ・「入/切」ボタンを押すとエラー解除します。
火力「④」ランプが点滅して機器が停止した	機器内部の電子部品が冷却不足となっています。	・周囲が35℃以下の環境で使用してください。 ・吸気口、排気口の清掃をしてください。(P.10 参照) ・「入/切」ボタンを押すとエラー解除します。
火力が弱い	トッププレートが高温になっています。	トッププレートから鍋を外し、暫く待ってからご使用ください。
	加熱しにくい鍋を使用しています。	使える鍋を使用してください。(P.5 参照)

7 仕様

品名	ビルトインIHコンロ	
型式	DR08SAR	DR08SBR
定格電源	単相 200V 50/60Hz	
定格消費電力	800W	
外形寸法 (幅×高さmm)	φ195×85	
質量	1.3kg	1.4kg
コードの長さ	電源コード 2m	接続コード 1m 電源コード 2m
付属品	共通	取扱説明書(本書)
	DR08SBR のみ	コントロールボックス取付ブラケット : 2個 皿ねじ・皿タッピングねじ(コントロールボックス固定用) : 各4本 トラスタッピングねじ(コントロールボックス取付ブラケット固定用) : 4本

8 保証とアフターサービスについて

保証期間は、本体お買い上げ日から1年間です。

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。

保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。

有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。

修理費用は、技術料+部品代+出張料(運送費)で構成されております。

保証期間1年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後6ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。

保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、6ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

- ① 外力による破損(トッププレートの破損、等)
- ② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
- ③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
- ④ 高温(200℃以上)の油などの飛散によるトッププレート接着材の損傷による故障
- ⑤ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

保証書

品 名	ビルトインIHコンロ
型 式	☐ DR08SAR ☐ DR08SBR
お買上日	※ 年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	※
お名前	※
販売店名 住所	※

※必ず各欄をご記入下さい。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 誤った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
 - 落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
 - 火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 消耗品の交換(トッププレートなど)
 - 保証書のないもの
 - 保証書の※印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品とこの保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

CHUBU

株式会社中部コーポレーション

〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533-1

●修理メモ

アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出下さい。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読み下さい。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡下さい。

CHUBU

株式会社中部コーポレーション

フード機器事業部 / 〒 511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰 1533-1

東京 / TEL 03 (5833) 9968 大阪 / TEL 06 (6788) 2251
中部 / TEL 0594 (32) 1130 福岡 / TEL 092 (474) 1312